

指定管理業務 事業評価書

平成27年度 指定管理者業務 事業評価表

施設名	龍門ふるさと民芸館
施設所管課	商工観光課
指定管理者名	那須烏山市観光協会
指定期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

確認項目	評価基準	自己評価	所管評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)職員配置	適切な人員配置がされたか	B	B
(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	C	C
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	A
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	B	B
(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続は適切であるか	—	—
3 保守点検業務			
(1)保守点検業務	保守点検が適切に行われたか	B	A
(2)清掃業務・維持管理業務	清掃業務・維持管理が適切に行われたか	B	B
(3)保安・警備業務	保安・警備業務が適切に行われたか	B	B
(4)修繕業務	修繕業務が適切に行われたか	B	B
4 事業の実施に関する業務			
(1)指定業務	事業が適切に行われたか	B	B
(2)自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	B	B
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	A
6 設置目的の達成度(管理目標)	設定目標に対する結果は妥当であるか	B	B
II サービスの質の評価			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	B	B
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	B	B
3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	B	B
4 指定・自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	B	B
III サービスの安定性の評価			
1 事業収支	事業収支は妥当であるか	B	B
2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	B	B
3 団体等の経営状況	団体の経営状況分析指標の結果は、妥当であるか	B	B
総合評価		B	B
その他特記事項(成果・改善等)			
1 指定管理者	平成27年度の入館者数は目標の3万人は超えたものの、昨年度と比べ減少傾向になった。それに比例し、物産品の売り上げも同様になり、指定管理の『来館者数と物産売上向上』を努力しなくてはならない所、減少してしまった点を反省し、改善策を考えなければならない。減少傾向とはいえ、大型連休等には市内の各観光地の中では上位に入る程の来客数を確保しており、その分いくつかの問題点が発生している。ひとつは駐車場問題で、民芸館の駐車場、市の駐車場の2か所のみでは、大型連休中など路上駐車をせざるを得ないのが実状である。また周辺にはラーメン店が一軒しかなく、食事ができない為に帰られてしまう観光客が多い。物産品に関しては、絵はがき、絵馬など龍門の滝のオリジナル商品の販売を実現させたい。PRの一環としてのインターネットを利用した情報配信は、引き続き継続して行う。		
2 施設所管課	近隣住民からの聞き取りや休業日に観光スポット情報収集など観光案内のために行っている。入館者数及び物販額が前年度と比較して減少しているが、観光バス観光客の減少によるもの大きい。		
総合評価の理由	近隣住民からの聞き取りや休業日に観光スポット情報収集など観光案内のために行っている。入館者数及び物販額が前年度と比較して減少しているが、観光バス観光客の減少によるもの大きい、微減であり物販額の増加に努めている。		

※ 施設の特性等に応じて確認項目を追加・修正して使用すること。